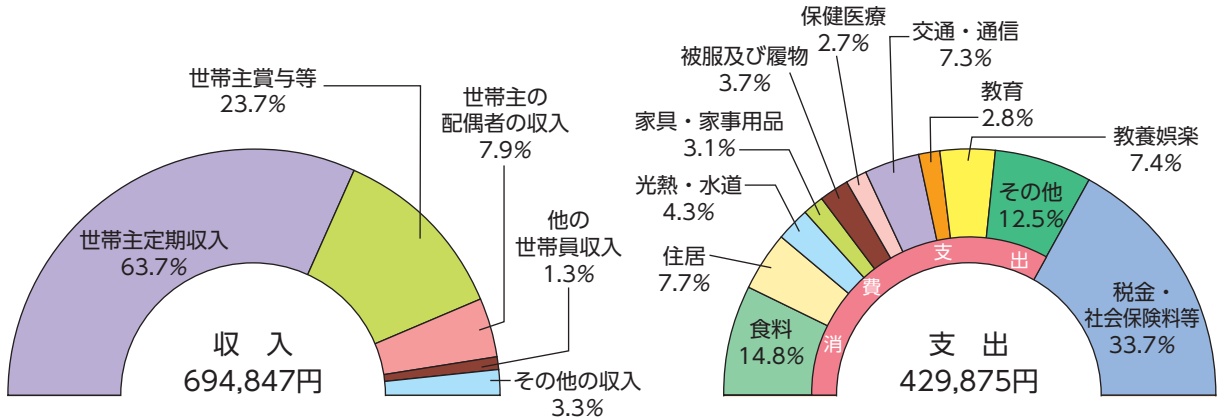


10 暮らし

① 1世帯当たり1か月間の収入と支出(さいたま市・勤労者世帯) (2022年平均)

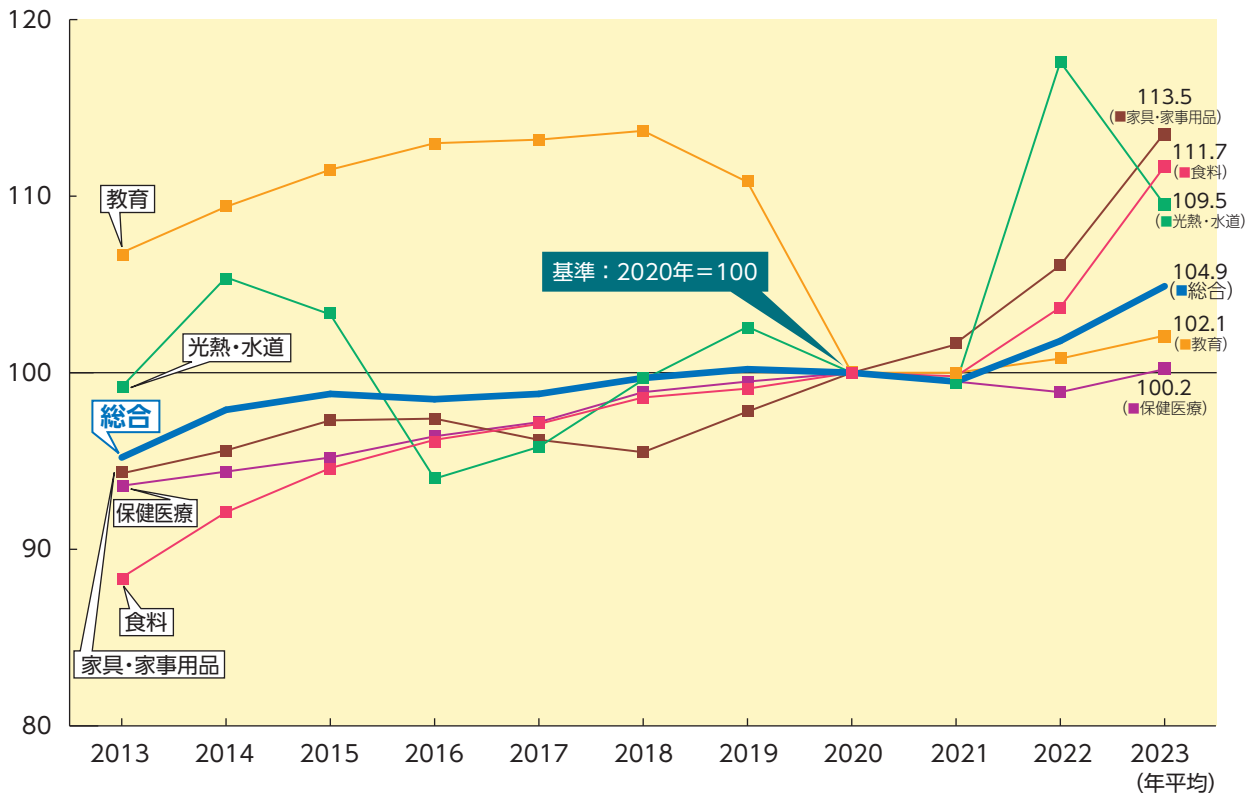


注) 収入とは、一般に言われる税込み収入のことで、世帯員全員の現金収入の合計である。支出とは、消費支出(生活費)と税金や社会保険料等の合計である。

資料：総務省統計局「家計調査」

↑ 1世帯当たりの1か月間の支出は429,875円、そのうち食料費は63,697円で、エンゲル係数(消費支出284,894円に占める食料費の割合)は22.4%でした。なお、全国の数値は、24.6%です。

② 消費者物価指数(さいたま市・2020年=100)



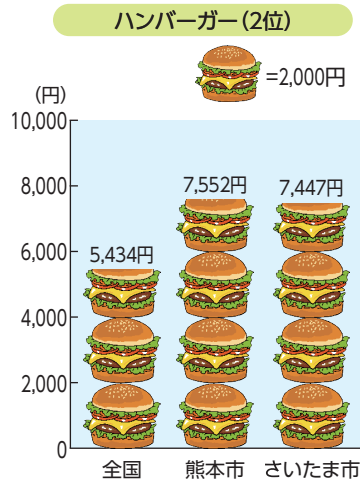
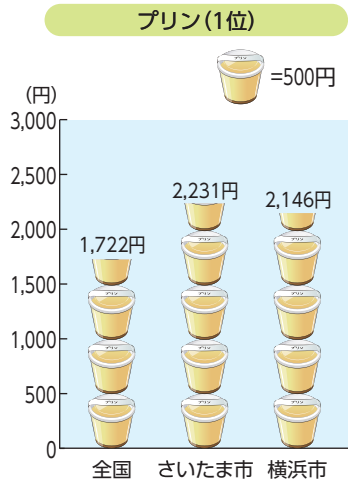
資料：総務省統計局「消費者物価指数」

「消費者物価指数」ってなあに？



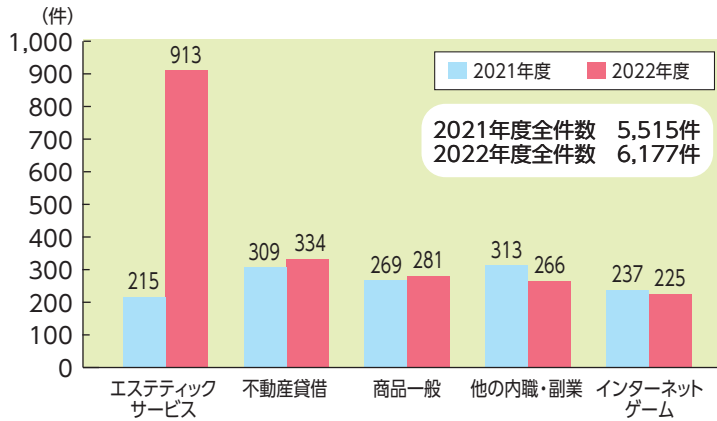
消費者物価指数は、私たち消費者が購入するたくさんの商品の価格の変化を総合し、平均的な物価の動きをみるための指標です。基準となる時点の物価を100とし、そこから物価がどの程度上昇又は下落したかを表しています。

③ 購入金額が全国で上位の食料品(さいたま市)



注) 1世帯当たりの年間購入金額(2020年~2022年平均)を都道府県庁所在地及び政令指定都市別に集計したものである。
資料: 総務省統計局「家計調査」

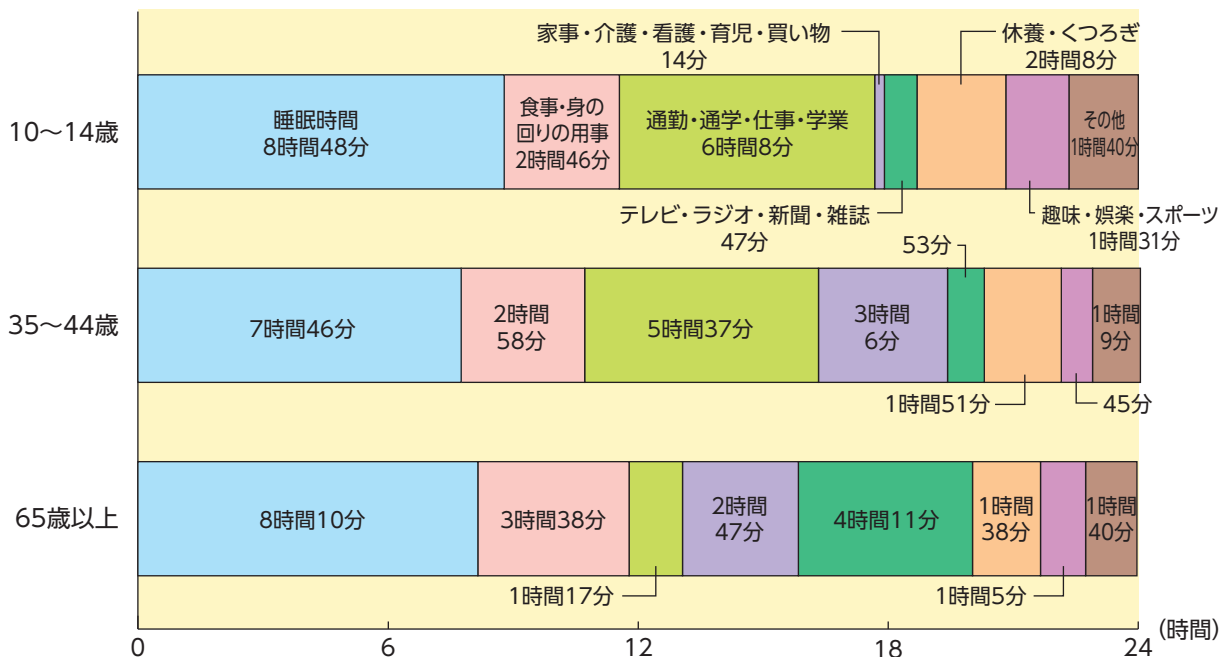
④ 若者の消費生活相談の相談件数(上位5項目)(2021年度・2022年度)



商品・サービス別にみると、特に目立つのが「エステティックサービス」の913件で、2021年度に比べ698件増加(324.7%増)している。

注) 契約当事者が29歳以下の集計。
資料: 県消費生活支援センター「埼玉県消費生活相談年報」

⑤ 1日の生活時間(2021年10月)



注) 10歳以上の人の1週間の平均値。
資料: 総務省統計局「社会生活基本調査」